



1987(S・62)年 夏 バイクは、近くて良き道場、広峰山へ行くのが常だ。休日は、100キロ程度の遠乗りで、峰山のような、景色のいいところが快適だ。その様なところは峠が多くなおさらい。峠は、けつをフリフリ立ち漕ぎで超え、下りは風を受けスピードとバランスの世界に快感を感じる。

ランは、バイク以上に回りの景色が良く見える。静かで自然の豊富などころのランニングは、楽しくて疲れを感じさせない。市川の河川敷や、お城も歴史を感じていい。休日には、広峰まで足を伸ばし、自然に触れ季節を感じ、色んな会話を自分とするひとときだ。

スイムは泳げるようになると海に出て自然のスイムがいい。左オープンで青い空、白い雲、かもめが私を気にして寄ってくる。スイムの後はアサリを少しとって浜へ引き上げる。まさに海の子だった。

この頃は空も太陽も、山も海も、すべての自然が素晴らしく思った。

6月21日グリーンピア三木で初のショートトライアスロンに参加。この年は中島にも出たが、何かトライアスロンの大会は好きになれない。エントリー一時、高い金を払って、3ヶ月先の土日の休みの約束など、とても出来ないし、心電図だのエントリーが大変だ。大会も大げさでうるさいばかりでなじめない。

10月18日、新宮のハーフセンチュリーで、辻川・辻・山下・池淵・玉田・長屋と久しぶりの顔合わせ。1着・加藤、3着・辻川、5着・池淵と上位を占める。バイクの後は揖保川沿いに、8キロのラン。夜は相生荘で海を眺め、皆で久しぶりの酒盛りに盛り上がる。

この頃から白浜の海や、バイクコース、三輪整形でトライアスリート大塚賢一氏と顔を合わすようになる。彼が数年後、私の信頼のおけるパートナーになろうとは、この頃は、思いもしなかった。



'88年(S・63) 03月13日	万場～蘇父	山スキー	辻川	晴天のため、雪がくさり重い、パワーの山スキーを楽しむ。どのような雪にも負けない、スキーさばき。これが課題だ。
03月19～20日	蘇父、氷ノ山	山スキー	辻川	曇り空の中、万場から蘇父へ。山頂で吹雪かれツェルトをかぶり待機。何とか下りるがスキーにならず。神鍋のキャンプ場はまだ50cm雪がべったり。夜は雪上キャンプ。翌日氷ノ山へ向かうが、天気良くな、国際スキー場でお遊び。
03月24日	戸倉～氷ノ山	山スキー	単独	三ノ丸手前の森林限界付近の霧氷が、青い空に映えて、素晴らしく綺麗だ。又風で霧氷が落ちる音が何ともいえない気持ちいい。
03月27日	国際～氷ノ山 (下部)	山スキー 単独		昨夜の雪が林道で5センチほど積もっている。林道は氷ノ山越登山口でシャットアウト。林道を国際スキー場へ、シールで登る。スキー場はまだ時間が早くリフトも動いておらず、誰もいない。静かなスキー場を、シール登行。標高1200mまで登るが天気悪化し、下山。



## 氷ノ山・三景

03月31日	東尾根 ～氷	山スキー	単独	昨日の降雪で、駐車場から先の林道は雪で入れない。歩きで国際スキー場へ。雪は十分あるが、スキー場はクロス。残雪は例年より多い。曇り空が残念だが、東尾根も滑る事が出来、このような事はめったに無い。
04月03日	東尾根 ～氷	山スキー	単独	快晴の中、東尾根からピッチを上げ登る。山頂で4本滑り下山。今日も雪多く、国際スキー場まで滑り下りる。テクニックとパワーのスキーだ。
04月10日	東尾根 ～氷	山スキー 単独		2日前の新雪で先行者のトレースの世話になるが、追いつき、私がラッセルするようになる。新雪10～20cm、シールに履き替えが面倒で、兼用靴で登ってしまう。今日も雪が多く、下山は、国際スキー場まで滑ってしまう。東尾根避難小屋手前からは、別の谷を滑るが、途中で5m程度の滝があり、そこだけはスキーを脱いで放り投げた。今年は雪が多く、東尾根を滑るのが面白い。
04月17日	東尾根 ～氷	山スキー	単独	今日も東尾根へ山頂で三週続けて舞鶴の人とお会いする。5月は白山へ行かれるらしい。私は、白馬を狙っているが、白山へも双六にも、行きたいところが次々出てくる。日本のオートルートも気にかかる存在だ。氷ノ山の雪は、この週でグッと解けた。

'89年(S・64) 05月01日～06 日	柵池～蓮華 温泉～雪倉 から平岩 猿倉～白馬 岳	山スキー	秋本(蓮華 温泉まで) あと単独	<p>1日。柵池の、秋本の友人の経営しているヒュッテに車をデポし、ゴンドラでスキー場最上部へ。柵池ヒュッテまでシール登行。</p> <p>2日。天気回復を待ち11時出発。天狗原から、強風の白馬乗鞍岳へピストン。蓮華温泉までは林間の切り開きを滑るコース的な所だった。</p> <p>3日。平岩へ下りる秋本と別れ、雪倉へ向かう。上部の急な登りをこなし、山頂。曇り空であまりハイにならない。下りは急な斜面が多く、思いきって飛び込む。</p>
------------------------------	--------------------------------------	------	------------------------	---

、下の方は登り同様、地形に特徴がなく、分かりづらく不安になる。ヒュッテは多くの山スキーヤーで賑わっているが、彼らがいつも出会う山スキーヤーとはタイプが違うように感じる。露天風呂を楽しむ。

4日。雨。朝日岳を予定していたが、悪天のため中止。多くのメンバーと、カッパを着て、平岩への長い林道を、数カ所登りが有るものの滑る。3月までなら平岩駅まで滑れるそうだが、この時期では、最後は、スキーをザックに固定して、兼用靴での長い歩きになる。電車・バスを乗り継ぎ車のデポ地へ。猿倉へ向かいテントを張った頃雨となる。

5日。昨夜は、雨の音、風の音が気になり、寂しい夜だった。今朝はよく晴れた素晴らしい朝だ。目指すは白馬岳なり。おかしいなと思いつつトレースをたどっていたら杓子の方へ行ってしまう、トラバース気味に大雪溪側にコースを直す。そして長い大雪溪の登り。3パーティー6人ほどが登っている。山荘を経てピークへ。いつまでいてもあきないくらいの素晴らしい展望だ。頂上の山荘は、10人ほどの登山者がいたが、夜は皆で楽しく酒盛りとなり、ようやく満たされた1日に酔う。

6日。山荘前のカリカリのアイスバーンに、エッジの金属音を響かせ朝一番の緊張の滑りを味わう。大雪溪の谷間に入ると程よい雪質になりスキーを楽しむ。

写真のフィルムの、セットミスで映っておらず、残念。来年もあの絶景をこの目で見て、写真に収めようと心する。



°88年05月29日	氷ノ山	登山	竹内,佐久間,福積,岩男	朝、広峰へバイク。そして会社の人たちと氷ノ山へ。良く晴れた1日で良く焼けてしまった。
夏	お城・広峰・ガス波止・峰山・生野銀山湖・海・プール。色んな所でスイム・バイク・ラン。心拍数150の世界で、自然を感じ、自分と会話をする。この様に町で遊んでいると、大塚賢一氏と、色んなところで出会う。彼はトライアスロンで競うことを趣味とし、姫路の「チームしらすぎ」の創立者でチームリーダーである。私とは全く異なる世界の人と思う。この年、大塚氏始めしらすぎのメンバーらと、中島トライアスロンに行っている。この中に木倉・森岡も居た。			
08月06日～08日	新穂高温泉～双六～槍	登山	単独	4度目の槍ヶ岳登頂。今回の西鎌は2度目で共に夏。7年ほど前の10月に、大塚(昌)さんと、東鎌で吹雪かかっている。学生時代、東京岳人倶楽部で、10月の降雪後に、雪の北鎌を登ってキレットを越え、穂高へ行っている。4度の登頂のうち槍の穂先に登ったのは、北鎌の時だけだ。槍ヶ岳にはそんな履歴が有る。 今回下山は、飛騨沢を下ったが、スキーにはもってこいの斜面だ。
09月～	<p>須磨赤十字病院の跡地の造成工事に着手。デベロッパーの開発行為でマンションの造成工事。私にとって初めての民間工事。現場近くのアパートを宿舎にする。通常、民間工事は管理が安易なものだが、神戸市の地滑り指定地区ともなると大変厳しく、関係官庁と協議の明け暮れ。朝、現場へ行かずに、ネクタイ締めてかばんを持って、地下鉄妙法寺から三宮の市役所へ。職業が変わったような感じがした。変更協議をいかに進めていか、又厳しい神戸市宅地規制課とのやり取り、現場では500m2の足場が倒れ、堀井君が負傷したこと・・・など、随分苦労しました。途方にくれた時、北須磨文化センターのプールに行くのです。頭がフリーになって何か得るものがあった。</p> <p>あの頃のランは妙法寺から高倉台の静かで自然の豊富な住宅街だった。アップダウンも多く変化にも豊んでいた。時間の有るときは、高倉山や須磨アルプスの方面にも足を伸ばした。ここで、山中のランが素晴らしい事に気がついた。</p> <p>バイクは大山寺や離宮道も良く走った。</p> <p>スイムは、北須磨文化センターやしあわせの村のプールを使用した。しあわせの村では、ランもよく楽しんだ。</p>			



°88年(S・63)12月30日	戸倉スキー場	ゲレンデ	単独	今シーズン初スキー。戸倉のリフト下の、荒れた急斜面を豪快に滑れた。雪質がよかたものの上々の滑り出しに満足。ほかに誰も滑る人はいなかった。返りに菅生ダム周遊路を2週14キロランして返る。この山を切り開いて作った道路は、丁度10年ほど前、私が携わった現場でもある。
12月31日	万場より蘇父途中まで	山スキー	単独	万場リフト終点からのシール登行は藪漕ぎ気味で、大変苦勞する。その割にはいくらか進まない。稜線に出たもののこれでは戦意喪失。奥神に向かいゲレンデで遊んで終わる。神鍋で気持ちよく10キロランして帰る。
'89・01月02日	藤無山	山スキー&ワカン		快晴。スキーは途中でデポ。後はワカンで山頂へ。
ランの大会は手軽で参加するのにいい。明石大山寺・青垣・神鍋・夢前・市川・・・みなハーフばかりだが、この3月12日に、初めてのフルマラソンの篠山に出る。3時間45分、上等だ。夜は、仲人をする予定の玉田・光ちゃんと寛子と共にビスクでステーキ&ワイン。				
03月19日	氷ノ山	山スキー	単独	今年は雪が少なく魅力半減。流れ尾根を滑る。
03月26日	氷ノ山	山スキー	辻川・なるちゃん	なるちゃんは、ゲレンデ板をザックに固定し、スキー靴で登る。ナルの成長に目を見張る。東尾根ピストン
04月02日	氷ノ山	山スキー	福積・佐久間	東尾根ピストン。雪はグッと少なくなり、お気に入りの斜面のスキーは、今日が最後の感じだ。福積氏は、初の雪山に感動され、そのままビスクで祝杯。帰ると玉田・ひかるちゃんが来て、みなで今度は八剣伝へ。
04月08日	玉田・ひかりちゃん結婚式。山下・長屋も駆けつけ祝う。夜は当然飲み会となる。			

